

みどりの少年団交流集會を 開催しました



八月八日の「ぎふ山の日」に、県立森林文化アカデミーにおいて、十一の少年団、80名の参加により「みどりの少年団交流集會」を開催しました。

朝から真夏の太陽が照る中、山の日フェスタのオープニングイベントに参加し、元氣一杯に山の日体操をして準備完了。その後、交流集會において、活動発表と野外活動を楽しみました。

活動発表では、「池田町みどりの少年団」、「相生みどりの少年団」、「上矢作中学校緑化少年団」、「中切小学校みどりの少年団」の4団体が日頃の活動について発表しました。どの少年団も、地域の歴史や自然を大切に思い、苗木育成や植樹などの緑化活動に励んでいるのが良く伝わり、充実した発表内容でした。

今年の最優秀団体は、審査の結果、地域の緑化活動やネイチャーゲームなど活発に活動している郡上市の「相生みどりの少年団」に決定しました。

また、昨年の最優秀団体の「久瀬みどりの少年団」による特別発表が行われました。当少年団は今年度「全国みどりの少年団活動発表大会」で「みど



ステンシル教室

森林散策

りの奨励賞（全国で5団体が受賞）を受賞しています。

野外活動では、森林インストラクターと一緒に森林散策をしました。葉っぱを食べたり匂いをかいだりして樹木の名前の由来などを学びました。また、地元林業女性グループ「山さなでしこ」によるクラフト教室でビノキ板を使った看板を作成しました。個性豊かな看板が出来上がり、みんなの良い笑顔を見ることができました。

名和昆虫博物館館長の昆虫の上手な捕まえ方などユニークなお話も聞き汗をたくさん流しながら盛りだくさんの行事を楽しみました。

真夏の暑さも吹っ飛ばし最後まで元氣一杯「みどりの少年団」と感じました。また来年の交流会で、少年団のみんなと遊びたいなあ。

【林政課 大亦】

「木の国・山の国の森林づくり」意見交換会を開催

知事と木の国・山の国1000人委員会委員が意見交換

八月八日の「ぎふ山の日」に、木の国・山の国1000人委員会委員と古田知事との意見交換会を開催しました。委員は、「岐阜県森林づくり基本条例」制定や「岐阜県森林づくり基本計画」策定に参画いただいた皆さんです。

同じ日に開催された「山の日フェスタ」の会場である森林文化アカデミーに、県下各地から四十二名の参加をいただき、猛暑の中、熱心な意見交換がなされました。

意見交換会は、岐阜経済大学の鈴木誠教授の司会により、和やかな雰囲気から始まり、委員の皆様からは以下のようなご意見・提案をいただきました。

- ボランティア・子育て休暇を推進している企業に対して、税制を優遇できないか。
- 県下各地の青少年教育施設を活用し、教育・農業分野とも連携した取組をお願いしたい。
- 企業との連携も必要。
- 林業組織は弱体化している。森林組合の育成強化をお願いしたい。
- 森づくりは自然そのものである。戦後半世紀の反省に立って森づくりを進めてほしい。
- 木材利用の拡大、付加価値生産性の向上、木材の高度利用のための研究・技術開発が必要。
- 森林づくりのための財源づくりが重要。

知事からは、意見・提案の一つ一つに丁寧な回答がありました。最後に、予算的には厳しい状況ではあるが、関係者が連携することが大切であり、引き続き岐阜県の森林づくりにご意見を、ご提案をお寄せいただきたいと思います。

今後とも県民の皆様としっかりと連携して、「県民協働による持続可能な森林づくり」の推進を進めてまいります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

【林政課 栗山】



意見交換会開催状況